



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.8.1 No. 4633

人事課長は責任をとれ!

申27号交渉
(7月30日)

説明のつかぬ異動「凍結」に 苦しまぎれのウソを並べる

1 7月1日付異動通知の「凍結」について、次の点を明らかにすること。
(1) 大きな混乱が生じていることについて、責任の所在及び今後の対応についてどのように考えているのか明らかにすること。

今回の異動の凍結によって、関係する社員等の生活設計等に影響を与えたことは会社も認識しており、今後、このようなことがないように努めていきたいと考えている。
なお、今後の異動時期や人選については、別途検討していくこととなる。

(2) 「凍結」について、現場の管理者が、JR東労組の介入に基づいてなされたものであることを主張している実態があるが、そうであれば動労千葉申第26号申し入れに対する回答は虚偽であったことになる。支社の見解を改めて明らかにすること。
(3) 7月11日に提案された10月ダイヤ改の提案内容を見れば、提案前から巷間言われていたとおりの内容であり、不確定な要素があったとは考えられないが、支社の見解を明らかにすること。

すでに説明したとおり、秋に予定されているダイヤ改正の内容を検討してきた中で、要員面で不確定な要素が発生したことから、異動を凍結したものである。

2 千葉運転区及び館山運転区への夏季輸送及び欠員補充等の要員操配を早急に実施すること。
なお、異動については、本人の希望を尊重して行なうこと。

業務に必要な要員は確保しているところであり今後も必要な要員は確保していく考えである。

なお、社員の異動については、個人面談等で希望等を前広に把握しつつ、業務上の必要性に基づき、就業規則の任用の基準に則って公正に実施しているところである。

3 JR東労組と結託した不当な労務政策、組合所属を理由とした差別を直ちに中止すること。
(1) 強制配転者を速やかに原職に復帰させること。
(2) 運転士資格保有者を速やかに士職に発令すること。

社員の異動については、個人面談等で希望等を前広に把握しつつ、業務上の必要性に基づき、就業規則の任用の基準に則って公正に実施しているところである。

(3) 指導操縦者の指定について、組合所属による差別を中止し、客観的な基準に基づいて指定し直すこと。

運転士見習の指導操縦者については、勤務成績等を総合的に勘案して指定しているところである。

(4) 昇進試験について、組合所属による差別を直ちに中止すること。

昇進試験については、就業規則等に基づき公正かつ厳正に取り扱っているところである。

七月三〇日、スト通知にふまえ、異動の「凍結」問題への抗議と、東労組と結託した不当な労務政策の中止を求める団体交渉が開催された。千葉支社は、自らした説明のつかぬ行為に狼狽の色をあらわにしなが、またも虚偽の回答を繰り返した。

現場管理者も、「東労組との関係」と公言している

組 事前通知の「凍結」などという事態は、国鉄時代も含め前代未聞のことであり、支社の責任は重大だ。組合としては、前回交渉以降の経過にふきえて改めて申し入れた。前回

組 千葉支社は、現場管理者が「異動が凍結になったのは東労組との関係だ」と公言したが、東労組自身が「自分たちが異動を止めた」と主張している。このような実態からすれば、前回交渉の会社の回答が虚偽であったことは明らかだ。

会 ダイヤ改正の要員面で不確定な要素が発生したことから異動を凍結した。

組 現場で混乱があるならば説明する。先日も説明したが、習志野運転区への業務移管がオーダーで十名と見込んでいたところが、六名ということ

になった。何度も異動をかけるというのは問題があるというところで凍結した。

「ダイヤ改で不確定な要素が発生」などウソだ!

組 そんなことが凍結の理由だと理解することなど到底できない。国鉄時代も含め、一旦凍結した事前通知はどのようなことがあっても変えない、というのが会社側の考え方であり、あなたが自身何度となくそのう、言い続けてきたではないか。実際、動労千葉の組合員にさし対しては、通勤地を間違えて(ウラにつづく)

異動通知をだしてしまつたものさえ変更しなかつたではないか。鹿島神宮在住の者を船橋在住と間違えて、初電でも通勤に間に合わない内房線の駅に事前通知をだしてしまつたとき、千葉支社は一体何をやつたのか。さんざん団交で議論しても「変更はできない」と繰り返して、出勤時間を繰り下げて乗り切るといふことまでやつたではないか。

「苦しまざるのウソの「回合せ」を許すな！」

「習志野運輸の要員増を十名と見込んでいたのが六名になつたため」などという主張が苦しまざるのウソであることは言うまでもないが、それは次の具体的事実からも明らかである。

第一に、職場では事前通知の前から、「習志野運輸区への東京からの業務移管量は要員にして数名分」と言われていたこと。第二に、今回の事前通知が「習志野運輸区の要員増十名」を想定した異動だとした場合、逆につじつまが合わない。この前提で異動前後の土職の過欠を示

区所	現過員	異動後
習志野	一〇	一〇
京葉	一八	一〇
千葉転	一〇	一七
銚子	四〇	一七
館山	二	三

せば次のようになるが、千葉支社のこの間の習志野運輸区優遇政策を考えれば、習志野だけ過欠ゼロにするなど、到底考えられない。

第三に、今回の異動はそもそも、夏季輸送を始めとした波動業務のほとんどを担当する千葉運輸区、出向者や休職者が予定されている館山運輸区への要員の送り込みを目的とした異動である一方、ダイ改で要員の変更が予定されていたのは習志野運輸区であり、習志野の「不確定要素」が事前通知の全面的な「凍結」つながることなど、そもそも絶対に考えられない。

第四に、これが最も決定的な事実だが、今回の「凍結」問題の発端は、習志野問題などではなく、銚子運輸区問題だということだ。東労組は、「事前通知がでる前に」銚子運輸区の異動を止めた」と公言している。これ発端としなり、事前通知がでた後も、「Kは京葉から千葉転に行ったら国労に入つてしまふかも知れないがいいのか」等々の横やりが始まり、ついに支社は「凍結」までやつてしまつたというのが真相だ。

まさに東労組と千葉支社は、極一部の革マル分子の利害と自己保身、危機感だけに基づいて自らの組合員も含め社員をもて遊んで平然としているのだ。

「凍結」は東労組と支社による人事のもて遊びだ

支社は、東労組が「自分たちが止めた」と公言していることは関知しないという構えだが、社長を先頭にことあるごとに東労組と一心同体で進むと公言し、三度もの労使共同宣言を発しているような関係のなかでそのようなことが言えるのか。労使共同宣言の趣旨から言えば、東労組から重大な背信行為をされていることになるではないか。

これは今回ばかりのことではない。例えば鴨川運輸区設置の際にも、「東京とはまだ要員調整もしていない」と団交で回答している段階に、東労組は具体的な名前まであげて、誰々が来ると公言しており実際そのとおりになった。われわれも団交の場で具体的な氏名をあげて指摘し、さんざん議論をしたはずだ。こんなことが幾度となく繰り返されていく現実について支社はどう考えているのか。

組 会

現場は、東労組の意向を受けて、ついに事前通知の凍結までしてしまつたということについて、「ルール」と言えるようなものを会社の側が完全に放棄してしまつたに等しいことと見ている。会社が言う「信頼関係」など完全に崩壊した。支社は今後いかに責

会 ご迷惑をかけた。現場の不信感については、今後このよくなことがないようにしっかりと努力していきたい。

千葉転・館山に要員操配を！

千葉転と館山運輸区に、早急に要員操配を行なうよう、強く要求する。夏季輸送という千葉支社としての大事業にあたって、これを担当する区に要員を結集するのはあまりにも当然のことであり、国鉄時代以来長年にわたつて、当然にもそのような運用がされてきた。この間千葉支社は、労務政策を背景として業務として当然のことをぶち壊してしまつた。千葉転は、昨年の夏季輸送でもどれほど労使の対立となつたのか、どれほど現場でハンドルを握る者に負担がかかつたのか、支社は充分承知しているはずだ。また館山は、欠員予定の補充であり、早急に要員を送り込むべきだ。各区の土職の過員状況を見ると現在はあまりにアンバランスだ。すぐにも操配できぬ条件は全くない。

十月ダイヤ改正に向けて要員操配は行なう考えである。千葉支社としてもこの間、波動を担当する千葉転に集めるという考え方でやつてきた。そのようできていない部分があると言われれば認めるが、波動業務を担当する区に要員を集めるという考え方でやつてきたことは間違いない。

全ての判断基準が労務政策！

千葉転に要員を集めるといふ考え方でやつてきたということが到底納得できない。現在、土職を最短コースの促成栽培で養成しているが、そもそも、京葉・習志野で養成して転勤という今のやり方では夏季輸送要員としては間に合わない。千葉転での養成数を増やせば何の問題もなく夏季輸送要員として使えるにもかかわらず、動労千葉が多いといふだけの理由でそれもやらない。全てが労務政策によつて判断されているところに一切の問題の根源がある。また「十月ダイヤ改正までに操配」などというが秋臨の列車のかなり設定があるはずだ。そんな時期では秋臨にも間に合わないといふことではないか。

夏季輸送に間に合わないといふ言われるが、土職の養成は、できるかぎり運輸区でやりたいといふ考えで、持ちきれない部分を千葉転等で担当することとしている。

【以下次号で報告します】